

憩い・集おう 公園・施設紹介



下高井戸みんなの公園

～心地よいみどりに囲まれた遊びと憩いの庭～

近隣住民や子どもたちへのアンケートやオープンハウス形式の説明会等を通じて整備を進めてきた新しい公園が、令和7年3月に開園しました。

回転遊具、パーゴラ、健康遊具などを設置、芝生広場を整備し、元の生産緑地にあったみかんの木をシンボルツリーとして活用しました。

住所：下高井戸4丁目17番3号

面積：653.89㎡



荻外荘公園 展示棟

この7月、昨年末に一般公開を開始した荻外荘の東向かいに、「荻外荘展示棟」がオープンしました。

●展示室

荻窪のまちの成り立ちに関する常設展のほか、荻窪ゆかりの文化人にまつわる企画展などを開催します。

こけら落とし展示は、「近衛家 荻窪での暮らし」と題し、「政治家・近衛文麿」よりも「荻窪に住み、荻外荘を愛した近衛文麿さん」として、資料や荻外荘に残る遺愛品とともに紹介します。

●カフェ

“杉並の美味しいものを楽しめるカフェ”をコンセプトに、地元で仕入れたお菓子、フードとお飲み物を組み合わせて提供。一部メニューは荻外荘の芝生広場にテイクアウトも可能です。

住所：荻窪二丁目42番12号

2階：展示室

(午前9時～午後5時まで、最終入館午後4時30分)

1階：カフェ (午前10時～午後4時まで)

ショップ (午前9時～午後5時まで)

お休み：水曜日、年末年始 (12/29～1/1)

緑の歳時記

Kさんのちょっと好奇心 「似て非なるもの」

ノミノツヅリを紹介します。
高さ5～20cm、茎の株は地表を這います。葉は卵形で対生し、こまかい毛が生えています。春から夏にかけて葉脈から花柄を出し、白色の五弁花をつけます。果実は卵形で先は六裂し小さな種子をこぼします。

いずれもナデシコ科の二、二年草で日本各地にふつうに見ることが出来ます。
今回区内を歩き観察しましたが、ノミノツヅリばかりでノミノフスマは発見できませんでした。

ノミノツヅリ

(蚕の繻=布をつないだ粗末な衣服)

ノミノフスマ

(蚕の衾=夜具・布団)



花びら



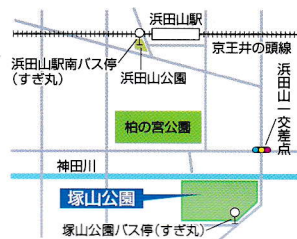
実



葉



花びら・実・葉のイラスト参考：
自然観察と生態シリーズ3
「野の植物」 牧野 晩成 著



盆栽の手法を取り入れた 野菜の鉢植え栽培

杉並区など都心の住宅事情から、植物を育てる場所は小さいスペースしかない、そんなご家庭も多いのではないのでしょうか。実を食べる野菜となると、さらに難しく感じてしまうことでしょう。

そこで、盆栽の手法を取り入れて生育を抑えつつ、小スペースでもコンパクトに、そこそこ収穫も可能なユニークな栽培方法を紹介します。



1. 小さくコンパクトに育つのはなぜか

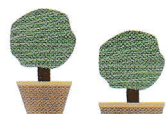


図1

盆栽は、なぜ小さくコンパクトに育つのでしょうか。根の制限と肥料のコントロールがあげられます。

図1右のように、高さが低く幅の広いお盆のような鉢に植えると根は深く伸びず、また植え替えるときに極力細い根をたくさん出すように根を切ることで、植物の地上部が縦方向に伸びにくくなります。

肥料は、生育に支障が無い程度に窒素分比率を少なくしながら育てることで、地上部全体の伸びを抑えることが出来ます。

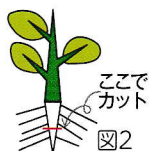


図2

2. 鉢への植え方

(今回は、実のなる春夏野菜で説明)

①一番作りやすいのはナス科の野菜です。特にトウガラシは実が小さく作りやすいです。

②苗は、まず茎から下に伸びている太い根(直根)を、1/3～1/4ぐらい切り取ります(図2参照)。残った細い根は、できるだけ残します。古土や枯れた根を取り除くこ

ナス科の、実のなる春夏野菜の場合

※各野菜の細かな管理方法は、各野菜の標準的管理方法を参考にしてください。

苗を購入し定植												
定植した株を無加温で栽培							定植した株を室内または霜が降りない・霜柱が出来ない 野外で栽培(出来れば加温が望ましい)					
施肥		施肥		施肥								
灌水は、表土が乾いたらたっぷり												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月

とで、生育は抑制されやすくなります。

③赤玉土の小粒を用意します。「フルイ」で、赤玉土から出る粉はふるい落としてください。

「フルイ」がない場合は、粉が入らないよう、粒だけ選んで使います。

④鉢は通常のプラ鉢や駄温鉢でよいので、3.5号や4号ぐらいの大きさをを用意します。鉢の大きさに比例して地上部は大きくなるため、置く場所を考慮しましょう。

⑤鉢底に鉢底石を入れ、その上に赤玉土を1/3位入れます。

⑥苗を中央に配置し、周囲に赤玉土を入れます。ウォータースペースは5mm以上確保します。

⑦水やりは、鉢底から出る水が透明になるまでたっぷりまきましょう。

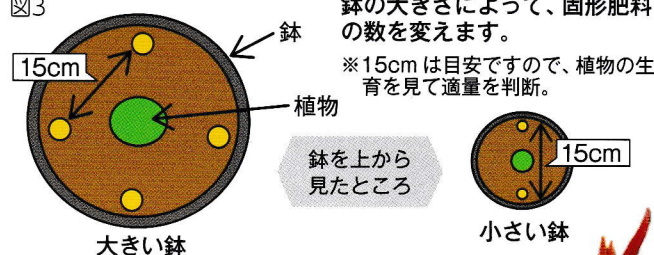
⑧支柱などの支えは、苗の大きさによって適宜使用してください。

3. その後の管理

水は表面が乾いたら、早朝にたっぷりとまいてください。猛暑日などの場合は、夕方気温が下がった頃にもう一度水やりをしましょう。なお、鉢下に受け皿を置いている場合は、水やり後に溜まった水をすぐ捨てましょう。

肥料は、実付きを促すため、リン酸分が多めの肥料を、適量施肥してください。(緩効性の固形肥料なら、約15cm間隔で鉢の周囲を1周する間隔で置くと良いでしょう。)(図3参照)

図3



鉢の大きさによって、固形肥料の数を変えます。

※15cmは目安ですので、植物の生育を見て適量を判断。



編集後記

「みどりとひと」はみどりの
ボランティアと協働で
編集しています。

馬橋公園に初めて行きました。緑が多く、あずまやがある日本庭園は素晴らしく、心なごみます。一時避難地でもあり、ぜひ皆様足を向けていただきたく思いました(原)

近所の知人の庭にセイヨウアジサイ、ガクアジサイ、カイザキ(貝咲き)アジサイが見事に咲いています。真にアジサイ三姉妹のようでした。庭の前を通るたびにしばらく楽しめそうです。(山)

数年ぶりの執筆?に悪戦苦闘!入院、リハビリ生活の呆けた心身に、かなりの刺激となりました。(小)もう枯れたと思い、庭に放っておいたシクラメンの鉢が驚きの復活!5月の末頃まで赤い小ぶりの花を咲かせ続けました。ごめんね。けなげだね。できれば来シーズンもね。(松)

馬橋公園の木々の鮮やかなみどりは目に優しく、吹き抜ける風は爽快だ。(石)